

ルクスキュアF



航空機用塗料で培った高耐候性フッ素樹脂のノウハウと、長年建築塗料で好評を得ています光輝性仕上げの技術を融合した新規塗り替え用意匠性クリアー塗料「ルクスキュアF」を開発しました。

意匠性と、建物の長期保護を目的とした塗料で、ニットク・アメニティシステム会の会員専用製品です。

艶ありの「ルクスキュアF トップコート」で仕上げることで、光沢感、光輝性の両方を併せ持つ エレガント な外観を提供します。

3分艶の「ルクスキュアF マットコート」で仕上げることで、シックで落ち着いた色彩の中に、光輝材のきらめきを感じるモダンな外観を提供します。

お好みの質感に合わせて仕上りをお選びいただけます。意匠性だけでなく、長期間あなたのお住まい・店舗を守ります。

特長

- **高意匠性**
屋根瓦用塗料で好評を得てきた光輝性技術で、デザイン性の高いラメ仕上げを表現します。
- **高耐候性**
耐候性の高いフッ素樹脂を採用することで、経年による劣化を抑制し、塗装初期の光沢を長期的に維持します。
- **耐紫外線性**
航空機塗料にも使用される高性能紫外線吸収剤により、長期的かつ高効率に紫外線をカットし既存塗膜を保護します。
- **F☆☆☆☆取得（ホルムアルデヒド自主管理製品）**
NO3285 ルクスキュアF ベースコート
NO3286 ルクスキュアF トップコート
NO3287 ルクスキュアF マットコート

用途

- サイディングボードやコンクリート壁などの改修

荷姿

- ルクスキュアF ベースコート
16kgセット（A液14kg、B液2kg）
4kgセット（A液3.5kg、B液0.5kg）
- ルクスキュアF トップコート ※艶あり
16kgセット（A液14kg、B液2kg）
4kgセット（A液3.5kg、B液0.5kg）
- ルクスキュアF マットコート ※3分艶
16kgセット（A液14kg、B液2kg）
4kgセット（A液3.5kg、B液0.5kg）

標準塗装仕様

工程	材料の調合	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ²)	施工間隔 (23℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ● 表面のゴミ、ホコリ、藻、コケ、かび類やチョーキングなどは、15MPa程度の高圧水洗浄や水拭きなどで、ムラなく均一に洗浄してください。高圧水洗浄時は周辺状況を確認し養生を行ってください。洗浄後は1日以上乾燥させてください。 ● 下地補修工事が必要な場合は、塗装工事前に行ってください。 ● エポキシ樹脂系注入剤やその他のエポキシ樹脂系補修剤などで補修した箇所は、はみ出した材料を除去してください。 ● 施工当日から施工後翌日までに降雨、降雪、結露、強風が予想される場合や気温5℃以下、湿度80%以上での施工は避けてください。 ● 防藻・防かび除去剤を使用した場合は、十分に水で洗い流して乾燥させてください。 				
下塗り	ルクスキュアF ベースコート ルクスキュアF NT塗料用シンナーA	A液 14kg B液 2kg 0~0.5kg	6時間以内	0.11~ 0.13	2時間以上 72時間以内
上塗り	艶あり ルクスキュアF トップコート ルクスキュアF NT塗料用シンナーA	A液 14kg B液 2kg 0~0.5kg	6時間以内	0.11~ 0.13	養生 24時間以上
	3分艶 ルクスキュアF マットコート ルクスキュアF NT塗料用シンナーA	A液 14kg B液 2kg 0~0.5kg			

※1 下塗りをスプレー塗装する場合はラメが比較的大きいためエアスプレー（推奨：アナスト岩田株式会社 スプレーガン WIDER2 ノズル口径1.5~2mm）にて行ってください。

※2 下塗り、上塗りともにスプレー塗装の場合の希釈は塗料16kgセットに対してNT塗料用シンナーAを0~1kgとしてください。



施工前の状態



施工後の状態



表面の拡大写真

ルルクスクアFを塗布することで、サイディングボードの光沢を復元し、さらにワンランク上の高級感のある外壁に仕上げることが出来ます。

施工上の注意事項

- 光触媒や強い撥水性または親水性処理、無機系塗料が施されたサイディングボードには適用できないためご注意ください。
- サイディングボードの種類が不明な場合は、試し塗りを行った後に仕様を決定してください。
- 経年劣化したサイディングボード面への施工は、表層劣化部から剥離するおそれがあります。素地の種類によって塗膜不良が起きることがあります。試験施工を行って付着性を確認してください。
- クリヤー仕上げは下地の状態をそのまま反映してしまうため、下地の劣化が著しい場合はおすすめできません。微細なひび割れなどの発生がなく、かつ築後10年以内であることを目安にしてください。
- 塗装後は濡れ肌になるため、施工後、施工前と比較して、全体的に色が濃くなる仕上りになりますのでご了承ください。特に劣化が著しい場合は色調の復元にばらつきがあります。不安な場合は試験施工を実施して仕上りをご確認ください。
- 結露の発生する恐れのある場所や換気が不十分な場所での施工は避けてください。
- 本製品は標準塗装仕様に従って施工してください。標準塗装仕様は、あくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可処分時間などに多少幅を生じることがあります。
- 塗料は必ず塗装仕様書の配合比で調合し、十分に攪拌してから施工してください。
- 塗膜の乾燥過程や最終養生の時間内に水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜のフクレ、白化、シミの発生につながるおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、施工を避けるか、強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 塗料の希釈率は標準塗装仕様の範囲内で試験施工などにより決定し、同一条件で施工してください。
- 標準塗装仕様の使用量を守って施工してください。
- ローラーや刷毛、スプレーなど施工方法が混在する場合、

- 仕上に差がでることがあります。特に補修塗りの際は注意し、仕上りを確認した上で希釈量等を決め最小範囲で行ってください（目立ちにくくなるように施工してください）。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目の方向により仕上りが異なって見える場合があります。
- コーナーエッジやジョイント部で塗膜がはがれている場合は、シルビアNADウレタンで補修した後にクリヤーを施工してください。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地刷毛などで施工してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地刷毛、ローラーなどでムラ切りし、除去してください。
- 目地の塗料たまりは、刮れや白化につながります。
- シーリング材の上の本製品を直接施工した場合、塗膜の密着不良やひび割れの原因となることがあります。シーリング材は原則として、後打ちにて施工してください。
- 先にシーリング材の改修する場合、シーリング面はマスキングテープなどで養生を行い、施工は避けてください。シーリング面への施工は塗膜の汚染、剥離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- シーリング材可塑性プライド防止プライマーの上への直接施工はしないでください。剥離や塗膜黄変の原因となります。
- 可塑性が多く含まれる建材（塩ビ鋼板、ラッピングシート、プラスチック、ゴム類、合成皮革、クロスなど）などへの施工は避けてください。
- 本製品は汚れが付きにくいものですが、建物の構造や部位、仕上げ、環境条件、施工乾燥条件などによっては本来の性能が発揮されない場合があります。
- 低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。

- 「ルルクスクアF ベースコート」の施工は、仕上りに最も影響を与える工程になります。特に刷毛・ローラー施工の場合は必ず事前に塗装確認を充分に行い均一に塗れる状態を確認後に本施工を行ってください。
- 「ルルクスクアF ベースコート」は吸い込みのある下地に施工しないでください。吸い込みがある下地に施工する場合は、吸い込みがないようエナメル色を「ルルクスクアF ベースコート」の前に施工するか、「ルルクスクアF トップコート」を施工し吸い込み止めをしてください。その上に「ルルクスクアF ベースコート」を施工してください。詳細は最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 「ルルクスクアF ベースコート」では、刷毛、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー塗装をお勧めいたします。
- 「ルルクスクアF ベースコート」を下地が完全なフラット面に施工した場合、乾燥後塗膜にハジキとして見える場合がありますが、ラメが立っている状態であり塗膜に異常があるわけではありません。
- ラメ感を強調したい場合は、一度に多く塗布するのではなく、複数回に分けて塗布してください。必ず事前に塗装確認を充分に行い本施工を行ってください。
- 「ルルクスクアF マットコート」は被塗物の形状、下地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際に希望している艶と異なって見える場合があります。事前に試し塗りをして確認してください。
- 「ルルクスクアF マットコート」は直接、下地に施工しないでください。
- 「ルルクスクアF マットコート」では、刷毛、ローラーでの塗装はムラが出やすくなりますので、スプレー施工をおすすめいたします。
- 「ルルクスクアF マットコート」では、塗り継ぎや補修で艶ムラが出やすいので、面を切って通して塗装してください。

「ルルクスクアF」の取り扱い注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合は、ABC粉末消火器など適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、有機溶剤の蒸気を吸わないよう必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器（取っ手を含む）はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で少なくとも5分以上洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。

- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の診察を受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で十分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診察を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い暗所に保管し、取り扱いの際は火気に充分ご注意ください（水系塗料は凍結を避けてください）。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。特に夏季に車内のでの保管や高温になる場所での保管は危険ですので避けてください。

- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は環境に配慮した材料を用いていますが、ご使用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 本製品は、揮発性の化学物質（有機溶剤など）を含有し、臭気が発生します。あらかじめ元請や施工主、近隣住民への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート（SDS）をご参照ください。

※製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。
【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】